

e ラーニング教材開発プロジェクトの円滑なマネジメントに必要な 技能の明確化

－ 教材開発マネージャーという役割の支援に向けて －

丸山 文枝^{*1} 喜多 敏博^{*2} 鈴木 克明^{*2} 平岡 斉士^{*2}

^{*1}

^{*2}

^{*2}

^{*2}

^{*1}熊本大学大学院 教授システム学専攻

^{*2}熊本大学 教授システム学研究センター

＜あらまし＞ プロジェクト・マネージャーはプロジェクトをゴールへ導くために欠かせない役割である。本稿では e ラーニングの教材開発におけるプロジェクト・マネージャーの必要性を分析した上で特有の技能を明確化した。その結果、プロジェクトマネジメントの技能に加え、インストラクショナルデザインとビジュアルデザインの 2 つの領域の技能が必要になることが明らかになった。

＜キーワード＞ インストラクショナルデザイン ラーニング 教材開発

1. はじめに

プロジェクトマネジメントについて関口・庄司 (2009) は「プロジェクトを適切且つ最良の方法で成功に導くための管理手法」と説明している。また、林・高橋 (2008) は「プロジェクトを確実に成功させるための道筋づくり」と説明している。e ラーニングの教材開発は営業、インストラクショナルデザイナー、ビジュアルデザイナー、イラストレーターなど、各専門分野のスタッフが複数名で行うことが多い。各スタッフを取りまとめて成功へと導くプロジェクトマネジメント活動は重要であり、適切な知識や技能を持つ人をプロジェクトにアサインし、適切な役割を与えることが必要である。そこで、教材開発のプロジェクト・マネージャーの育成支援を行うため、必要となる知識や技能を仕事をしながら修得できるジョブエイドを設計し、運用することを目指す。

2. 現状の問題点と解決するための方法

2.1. 対象とした e ラーニング教材

筆者の所属する部は 2017 年 2 月より一般企業の社員及び団体職員を対象とした「情報セキュリティ」教材を作成している。今回この教材を問題

点の分析の対象とした。情報セキュリティの知識が浅い人でも学習しやすいよう、基礎知識に加え、誰にでも起こりうる情報セキュリティの問題点を 4 コマストーリーとして導入し、課題と対策を学ぶことができる。

2.2. e ラーニング教材作成におけるスタッフへのインタビューと問題点の見える化

まず、この教材開発に携わっているスタッフにインタビューを行った。インストラクショナルデザイナーや営業など、各専門分野のスタッフは数名参加しているが、プロジェクト全体の進捗を管理し、各スタッフの業務分担の調整や品質管理を行う、いわゆるプロジェクト・マネージャーが不在のため目標達成や計画遂行に向けてプロジェクトが機能していないことがわかった。仮にプロジェクト・マネージャーがいても部員は度重なる異動により流動化するため、プロジェクトは継続しないのではないかという課題が挙がった。

次に教材開発のプロセスで各役割のスタッフが行うべき業務を整理するため、WBS (ワーク・ブレイクダウン・ストラクチャー) でプロジェクト全体を各スタッフの業務に分解した。これをベースにプロセスマップを作成したところ、スタッ

フの間にプロジェクト・マネージャーの存在が必要であることがわかった。

2.3. インタビューと業務状況の分析結果

インタビューと業務状況の分析の結果から、共にプロジェクト・マネージャーが必要であることがわかった。尚、本研究では一般的なプロジェクト・マネージャーと区別するため、教材開発マネージャーと呼ぶこととする。

2.4. プロセスマップに沿った教材開発マネージャーのタスクリストを作成

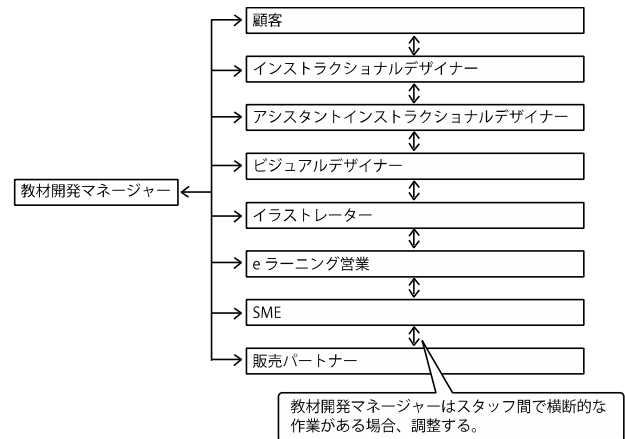
教材開発マネージャーの役割と技能を明らかにするため、プロセスマップの各タスクに沿って、教材開発マネージャーと各スタッフの行動と行動に対する評価の観点を洗い出し、タスクリストを作成した。

2.5. 教材開発マネージャーに必要な技能の分析

教材開発におけるプロジェクト特有の能力を必要とするタスクとそうでないタスクに分類した後、必要な技能を分析した。各技能の明確化に当たっては鈴木（2002）の「学習課題の種類と出入口の明確化」に従い、言語情報と知的技能の2つの学習課題に分類した。

3. 結果と考察

分析の結果、教材開発マネージャーに特有の知的技能はインストラクショナルデザイン領域とビジュアルデザイン領域の2つに大きく分類された（表1）。教材開発マネージャーはこの2つの領域における基本的な考え方を知った上で、適切なスタッフへ適切に業務分担を行い、その後納品されたデータを指示通りに適用できているか品質管理を行ったり、検収する技能が必要となると考えられる（図1）。



- (1) 教材開発マネージャーは適切なスタッフへ作業を依頼する。
- (2) 各スタッフは作業を完了し、教材開発マネージャーへ検収を依頼する。
- (3) 教材開発マネージャーは品質管理や検収を行う。

図1. 教材開発マネージャーの立場と役割

4. 今後の予定

知的技能にフォーカスを当て、知識や技能を仕事をしながら習得できるジョブエイドとセルフトレーニングエイドを設計後、インストラクショナルデザインの専門家とビジュアルデザインの専門家にレビューを行う。その後、形成的評価を実施し、改善案を検討し改善を行う予定である。

参考文献

- 鈴木克明（2002）教材設計マニュアル―独学を支援するために― 北大路書房 京都
- 関口佳恵 庄司裕子（2009）プロジェクトマネジメントと感性コミュニケーション 第52回自動制御連合講演会
- 林千晶, 高橋宏祐（2008）Web プロジェクトマネジメント標準 ―PMBOK(R)でワンランク上の Web ディレクションを目指す― 技術評論社, 東京

表1. 教材開発マネージャー特有の技能

学習課題	領域	教材開発マネージャー特有の技能の例
知的技能	インストラクショナルデザイン	・学習目標、学習方法、評価方法の考え方を適用し、検収することができる。 ・教材の企画書（教材のタイトルや内容、対象者集団、コンセプト等）の考え方を適用し、検収することができる。 ・教材の構成を適用し、検収することができる。 ・テストの作成方法を適用し、検収することができる 等。
	ビジュアルデザイン	・絵コンテや4コマストーリーの作成方法を適用し、検収することができる。 ・デザイン・レイアウトの基本を適用し、検収することができる。 ・イラストレーションの基本を適用し、検収することができる 等。